

「向日町競輪場基本構想(中間案)」に対する意見募集結果について

- 1 意見の募集期間 令和5年9月28日(木)～10月26日(木)
- 2 意見募集の結果 38人・団体 72件
- 3 意見の要旨及び京都府の考え方

項目	意見の要旨	京都府の考え方
3 持続可能な競輪事業に向けた取組	競輪場に人を呼ぶのは難しく、インターネットに重点を置くしかないと思う。自転車好きの人も多いので、臨場感あるレースをVRカメラで観られるようにしたら面白いのではないか。キャラクターなどゲームを活用した魅力発信もしてほしい。	競輪事業が持続可能なものとなるよう、活性化・イメージアップなどのために必要となる取組を実施することとしております。
	建設費用がかなりかかると思うので、交通ルールなどを学ぶ場の提供などにより定期的に収入を得ることも必要だと思う。	
	住宅区域に囲まれた競輪場であり、昼間の時間帯でも周辺道路にゴミが見受けられるなど迷惑している。治安面も含め、居住者の立場となって考えてほしい。モーニング競輪・ナイター競輪は反対。	開催時間帯の見直しについては、地域住民の皆さんの御意見や他の競輪場の取組などを踏まえ、検討することとしております。
	競輪場は競輪の道に進みたいと思う人達のためにもあったら良いと思う。ギャンブル依存症対策をしながら続けたらよいと思う。	御意見を踏まえ、コンセプトの柱の1つに、「自転車競技関係者や自転車愛好家が集う競輪場～自転車を通じた、スポーツ振興・人材育成・交流の拠点となる競輪場～」(P5)を追加しました。
	80%を占めるインターネット投票による車券売上の伸び率について「20代の新たな顧客層が今後の車券売上を下支えする」とあるが、若年層に賭博を推奨するのは公営だからこそ問題ではないのか。	広告宣伝の抑制、ギャンブル依存症に関する普及啓発の推進、アクセス制限の強化などの公営競技業界を挙げた取組に加え、向日町競輪場においても、ポスター・チラシの掲示、場内放送の実施などの啓発活動や、年齢確認による未成年者の車券購入防止などの基本的な対策を引き続き実施することとしております。
競輪の売上増加は、ギャンブル依存症の被害者増加につながるおそれがある。経営面だけでなく、負の側面についても検討を行い、売上げの向上を図るべきである。		
4 競輪事業の継続に必要な施設の再整備	競輪場の場所は公共交通機関に近く、高齢者などもアクセスしやすい。バンク内に、小学生から高齢者まで楽しめるグラウンド・ゴルフをはじめ、サッカー、ラグビーなどにも使用できる多目的施設を作してほしい。	競輪開催との兼ね合いや他の競輪場の取組なども踏まえ、バンク内の敷地の活用について検討することとしております。
	バンク内にグラウンド・ゴルフやサッカー、ラグビーなどに使用できる屋外球技場施設、特に小学生から高齢者までが楽しめるグラウンド・ゴルフ場を設置してほしい。	

項目	意見の要旨	京都府の考え方
	地球温暖化の進行を考えると、バンクを屋根・空調付きにしたり、施設一体をドームにしたりすれば、コンサート会場などにも使用でき、市民の避難所にもなる。駐車場は地下に作るのがよいと思う。	引き続き地域住民の皆さんに親しまれる施設となるよう、再整備に当たっては、地域住民の皆さんの利用に十分配慮することとしております。また、向日町競輪場は、指定緊急避難場所及び指定避難所に指定されており、備蓄倉庫が設けられていることから、引き続き防災面に配慮することとしております。
	9ページの(5)各種配慮については全面的に賛同する。地域住民の利用にも十分配慮するとあるが、「にも」ではなく最優先にしてほしい。	
	競輪事業の原資は、競輪ファンの車券購入によるものであり、バンクの周長検討や屋根付きにするかどうかについて、全国の競輪ファンに広くアンケートを取るべき。競輪ファンの声をないがしろにしているように感じる。	再整備を実施することで、来場者に対するサービスの向上、選手・競技者の競技環境の改善などを図ることとしております。特に、バンクについては、大規模改修することにより、競走の公正安全、選手が安心して走ることのできる環境の確保を図ることとしております。
	バンクはそのまま残しておいても良いと思うが、今の古い競輪場ではますますイメージが悪くなっていくように思う。人が集まれて、特に球技など子どもがのびのびと遊べるような場所も作ってほしい。	老朽化が著しい施設について、解体・除却を実施することで、安心・安全の確保を図るとともに、来場者数を踏まえた施設・機能の集約化を行い、新しい観戦スタイルなどに対応した施設の再整備を実施することで、来場者に対するサービスの向上、選手・競技者の競技環境の改善などを図ることとしております。
	競輪場を残すのなら、もっと綺麗にしてほしい。	
	向日市民は、決して公営ギャンブル施設としての競輪場の存続を望んでいるのではない。スポーツとしての自転車競技施設への転換を志向すべき。観戦・投票施設を大幅縮小し、余剰地の活用を図ることは大いに賛成。	御意見を踏まえ、コンセプトの柱の1つに、「自転車競技関係者や自転車愛好家が集う競輪場～自転車を通じた、スポーツ振興・人材育成・交流の拠点となる競輪場～」(P5)を追加しました。また、来場者数を踏まえた施設・機能の集約化を行い、新しい観戦スタイルなどに対応した施設の再整備を実施することで、来場者に対するサービスの向上、選手・競技者の競技環境の改善などを図ることとしております。
	大きなアリーナを建てるために、結局全ての既存施設をつぶしてしまうことになると思われ、建設費用も膨大になり京都府財政を圧迫することになるのではないかと。様々な工夫をしている他の競輪場の事例を参考にすべき。	再整備に当たっては、多額の事業費が想定されることから、引き続き精査を行うこととしております。また、施設整備基金などを可能な限り活用するとともに、資金調達能力や豊富な経営ノウハウなど民間事業者の強みの活用なども検討することとしております。
	80年代末頃から、乙訓地域での埋蔵文化財調査が活発になっており、競輪場の場所はかなり重要な地点であり、発掘調査に何年もかかると思われるが、大規模な工事をして大丈夫なのか。	埋蔵文化財調査の実施を踏まえたスケジュールを想定し、再整備を進めることとしております。

項目	意見の要旨	京都府の考え方
5 余剰スペースの活用	<p>散歩コースになっていたりと良い面もあるので、飲食店や子どもが屋内で遊べる空間、原っぱの整備や休場時のキャンプ利用、災害時にも対応もできるトイレの整備などにより、良い面をどんどん伸ばしてほしい。</p> <p>以前から向日市に子どもから高齢者まで安心して利用できる緑地公園がほしいと思っており、散歩やジョギング、遊びなどに使える憩いの場を最優先に考えてほしい。</p> <p>向日市は公園でのボール遊びや図書館での自習が禁止となっており、緑地も少ないため、無料で遊べる公園や高齢者も憩える植物園のような緑地のグラウンドを作してほしい。一文橋から消防署までの道がいつも渋滞しており、まずは渋滞対策を進めてほしい。</p> <p>向日市は公園でのボール遊びや図書館での自習が禁止となっており、無料で過ごせる公共施設も少ない。子ども達が放課後・休日に、無料で安心安全に過ごせる屋外施設や屋内施設の設置も視野に入れて検討してほしい。</p> <p>余剰スペースの整備を行い、レジャーや憩いの場、スポーツ活動・防災の拠点ができることはとてもよいことだと思う。向日市にある児童公園のほとんどはボール遊び禁止であり、雨天時は子ども達が行き場を失っているため、ボール遊びのできる公園、雨天でも遊べる施設を作してほしい。</p> <p>子どもから高齢者、障害者まで自由に利用できる場所として活用してほしい。特に、小学生が思い切りボール遊びをする場所がない。市民向けの説明会を何度も行っていただき、市民の声を聞いてほしい。</p> <p>向日市は西日本一小さな市で子ども達の遊び場がない。アリーナの屋上を広場にするなど子供達が走り回れる場所を作してほしい。</p> <p>場内に大宮交通公園のような遊び場があると、家族ぐるみで楽しめる。</p> <p>今の競輪場は広々とした空間があるので、アスファルトを土と芝生にして、ゆったり広々とした市民が憩える場になればいいと思う。災害時には、避難場所としての役割を果たす施設になってほしい。</p> <p>向日市民などを対象にしたワークショップの開催や、緑地の確保については、緑の木々と芝生に囲まれた地域住民が安心してくつろぐことができるような公園にしてほしい。</p>	<p>競輪施設・機能の集約化に伴い生じる余剰スペースについては、「交流・賑わいゾーン」として整備を実施し、レジャーや憩いの場、スポーツ活動・防災の拠点などの多目的・複合的な機能を充実させることとしております。</p> <p>また、緑地等の確保、防災機能、地域住民の皆さんの利用などに十分配慮することとしております。</p>

項目	意見の要旨	京都府の考え方
	<p>余剰スペースの「交流・賑わいゾーン」としての整備については大賛成であり、子どもや高齢者が安全安心に「くつろげる場所と施設」を整備してほしい。</p>	
	<p>向日市は憩える場所が少ない。花や木、座る所などがあり、ホッと憩える場所にしてほしい。</p>	
	<p>向日市は大規模開発により自然が急激に減少しているため、自然豊かな場所にしてほしい。駐車場・自転車置場の整備、またソーラーパネルや蓄電池の設置など自然災害に対して市民を守れる場所にしてほしい。</p>	
	<p>向日市には児童館がなく、図書館は自習禁止になっている。向日町会館の建替整備について、多世代が自由に過ごせるフロア、在宅ワークも可能な自習室、音楽スタジオなど、競輪場に立ち寄った人も利用でき、市民が交流できる場所を検討してほしい。</p>	<p>引き続き地域住民の皆さんに親しまれる施設となるよう、再整備に当たっては、地域住民の皆さんの利用に十分配慮することとしております。</p>
	<p>地域住民の利用しやすい施設となるよう、「地域住民の要望に応じて整備するゾーン」を設けてほしい。向日町競輪場は向日市最大の災害避難所であり、全市民参加のイベントが開催できる唯一の場所なので、それらの機能を確保してほしい。</p>	
	<p>競輪場をリニューアルし、市民が利用できる施設にすることは賛成。市民が気軽に来て体を動かせる場所にし、住民の安全にも配慮するとともに、向日町会館は新しくし、みんなが集まれる場にしてほしい。</p>	
	<p>アリーナが主体となる場合、余剰スペースはどの程度あり、向日市民が利用できる場所は十分に確保できるのか。現状のテニスコートや卓球施設に加え、子ども達がボール遊びできる場所、高齢者がゆったり過ごせる東屋やベンチも作ってほしい。</p>	<p>競輪施設・機能の集約化により、競輪開催エリアは敷地全体の4割程度と想定しております。(P9に追加) また、余剰スペースの活用にあたっては、緑地等の確保、防災機能、地域住民の皆さんの利用などに十分配慮することとしております。</p>
	<p>地域のイベント・祭などの開催やBMXパークの設置により、競輪場の雰囲気も変わり、子ども達の集まる場所、貴重な遊び場となっている。屋内施設を整備するのであれば、BMXやスケートボードに乗れる施設に、またせっかく競輪場があるので、競輪場を中心とした自転車好きの聖地にしてほしい。 BMXを整備・販売する店舗やレンタルサイクリングの店舗を設置するなど、自転車人口の増加や自転車を利用した観光により多くの人に豊かな向日市を知ってほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、コンセプトの柱の1つに、「自転車競技関係者や自転車愛好家が集う競輪場～自転車を通じた、スポーツ振興・人材育成・交流の拠点となる競輪場～」(P5)を追加し、再整備を進めることとしております。 また、競輪事業の活性化・イメージアップを図るため、サイクルスポーツの振興、自転車関連事業者の出店などについて検討し、取組を進めることとしております。</p>

項目	意見の要旨	京都府の考え方
	<p>BMXパークは、自転車を通して子ども達が目標を見つけながら仲間と交流できる大切な場所である。子ども達のためにも、工事期間も含め存続し、運営してほしい。BMXパークの魅力によりアピールできるような整備も期待している。</p>	<p>御意見を踏まえ、コンセプトの柱の1つに、「自転車競技関係者や自転車愛好家が集う競輪場～自転車を通じた、スポーツ振興・人材育成・交流の拠点となる競輪場～」(P5)を追加し、再整備を進めることとしております。</p>
	<p>屋内スポーツとしての活用を検討されているが、たくさん子ども達の居場所にもなっているBMXパークは残るのか。BMXパークなどのアーバンスポーツ施設を残すとともに拡充してほしい。</p>	
	<p>BMXパークの残存について記載がないが、BMXパークはどうなるのか。競輪場という特性から、KEIRINやBMX、ロードバイクなど自転車を軸としてもいいのではないかと。アーバンスポーツが少しずつ注目され始めており、向日町競輪場がアーバンスポーツの聖地となるよう希望する。また、BMXパークを継続・確保するなど、BMXを含めたアーバンスポーツを盛り上げ、自転車競技やアーバンスポーツを軸に集客を検討してほしい。</p>	
	<p>向日市民まつりなどの催しがあるとき、騒音・ゴミ・多くの人で困ることがある。近隣での違法駐車や、交通ルール違反、騒音などの競輪場周辺の問題について、効果的な対策を提案してほしい。</p>	<p>余剰スペースの活用にあたっては、周辺環境への影響などに十分配慮することとしております。</p>
	<p>スポーツ施設の整備の前に、周辺道路の渋滞対策や道路の拡幅などを実施してほしい。</p>	
	<p>競輪場前の府道の交差点は向日市内における最大の交通渋滞地点である。余剰スペースに新たな観客誘致施設を作るなら、まず府道の拡幅から始めて、アクセス改善や駐車場の整備も同時に進める必要がある。</p>	
	<p>多くの府民が来場すれば、現在の周辺環境では大混乱になる。「来場者やサービスの動線を確保すること」に加えて、「周辺の環境整備と一体のものとして検討すること」としてほしい。</p>	
	<p>ハンナリーズの件で建設を急いでいるかもしれないが、競輪場への道路整備が行われな限り、住民生活に支障が出ると思う。道路整備の案を提示することが必要である。</p>	
	<p>1万人規模の人々が向日市に押し寄せて起こるであろう交通対策が示されていないのは困る。</p>	

項目	意見の要旨	京都府の考え方
	アリーナ整備によるイベント開催時の交通渋滞や、駐車場の不足、多くの人々の出入りが心配である。	
	アリーナで大きなイベントをするなら車での来場があると思われるが、競輪場周辺の道路整備について住民説明会で言及がなかった。	
	来場者が集中する時間帯に、渋滞やトラブルが起きないかなど、1万人のアリーナを作ることは少し不安なところがあるので、きちんとした説明をしてほしい。	
	京都府には大規模なアリーナが島津アリーナしかなく、プロスポーツの試合や大規模なイベントができていないのが現状であり、余剰スペースにはアリーナを整備してほしい。向日市は子育て世代が多いので、イベントがあれば喜ばれると思うし、地域のランドマーク的な役割を果たせば愛着につながると思う。	屋内スポーツ施設としての活用については、スポーツ施設のあり方懇話会等で専門家の意見を聴取しているところであり、今回いただいた御意見なども参考にしながら、検討を進めることとしております。
	競輪場のイメージがよくなれば良いと思う。土地が広いのでスポーツができて観れるような場所や、若い人も集まるようなアリーナを作るのも良いと思う。これを機会に向日市が賑わうようになれば良いと思う。	
	京都府内にはスポーツが観られるような大きな体育館がないように思う。向日町競輪場は広いのでこの場所にあれば良いと思う。	
	京都府には、バスケットやバレーボールなどのプロの試合が観られるような場所がないと思うので作ってほしい。	
	向日市はJRと阪急の駅があり交通の便が良い。有名人のコンサートが観られる場所を作ってほしい。	
	コンサートや体育競技ができるアリーナを作ってほしい。	

項目	意見の要旨	京都府の考え方
	向日町競輪場の余剰地へのアリーナ誘致には反対。 狭い向日市に、一度に1万人が集まることになると、交通渋滞や周辺道路への違法駐車等の迷惑が起こるのではないかと心配である。	余剰スペースの活用にあたっては、周辺環境への影響などに十分配慮することとしております。また、屋内スポーツ施設としての活用については、スポーツ施設のあり方懇話会等で専門家の意見を聴取しているところであり、引き続き専門家や地元の方からの御意見も踏まえながら、検討を進めることとしております。
	向日市に大規模なアリーナを整備することに疑問がある。イベント開催時に会場や駅周辺は混雑し、狭い道路も多く大渋滞になるのではないかと。駐車場の確保や公共交通機関の充実が不可欠である。	
	競輪場を集約化した後にはアリーナではなく、市民が憩え、スポーツ競技等に参加できる場や、子ども達がボール遊びできる場、緑いっぱいの高齢者も散策できる公園などが真の賑わいに繋がると思う。	
	バスケットが京都に根付き人気スポーツになるためには、立地やまちづくりとの融合により生活に溶け込むことが必要であり、向日町競輪場では立地が悪すぎるのでアリーナ併設に反対。長期的に何が魅力的なのかしつかり考えるべき。	
	余剰スペースの活用について、賭博である競輪施設との相乗効果は考えられない。府立のスポーツ施設のみが取り上げられているが、西京極のスポーツ施設も建替を検討されており、公共施設への二重投資は避けるべき。	
	屋内スポーツ施設を設置の方向で進めるのは、あまりに唐突であり住民を無視した進め方には同意できない。「スポーツ施設のあり方懇話会」で府内全域を対象に総合的、長期的な展望をもって議論を進めてほしい。向日市につくるなら、市民への計画内容の周知徹底、説明会の開催、緑とゆとりある府民の憩いの場を提供、物集女街道の拡幅・整備の早期実現、阪急駅前整備・高架事業の早期実施、向日市への分担金や業務負担を求めないことについて、実行されることを望む。	
	5,000人以上を収容できるアリーナにどれほどのスペースが必要で、そのスペースは確保可能なのか。スポーツ団体からアリーナ建設の要望が出されているが、団体だけでなく向日市民の声を受け止められる説明会を行ってほしい。	
	住民説明会での説明は、整備内容が未定なので不十分であり、またアリーナ整備が強調されていた。競輪場は向日市の中心部に立地しており、向日市民が競輪場をどうしていきたいか、丁寧に時間をかけて意見を聞いてほしい。	
	アリーナの建設候補地に向日町競輪場敷地内が上がっているが、もし向日町競輪場に決定した場合、一部を貸したばかりに全部を取られるようなことにならないよう十分気をつけてほしい。	

項目	意見の要旨	京都府の考え方
	府がアリーナを建設したいというのは、余剰スペースの活用の検討と重なってくるが、そうなのか。	
	「競輪以外の目的の来場者を新たな顧客として取り入れ、購入層の拡大を図ること」や、交流・賑わいの創出につながるような動線の確保は、ギャンブル依存症対策と矛盾するので動線を明確に分離すべき。	御意見を踏まえ、競輪開催の場としての機能だけでなく、地域と共生する競輪場として、地域の交流・賑わいの拠点へと転換するに当たっては、「交流・賑わいゾーン」への来場者の動線を明示的に確保することとしております。(P9に追加)
	「競輪以外の目的の来場者を新たな顧客として取り入れ、購入層の拡大を図る」とあるが、ギャンブルを薦める方向で余剰スペースの活用を考えることには反対。	
その他	余剰スペースの維持管理は京都府で行うのか。	余剰スペースの活用を踏まえて、検討することとしております。
	ギャンブルという賭け事であること自体がよくないと思う。子どもが楽しめる運動公園や府民や市民に開放された緑地公園にして、家族連れや高齢者、障害者が安全に過ごせる街にしてほしい。	競輪事業の社会貢献の取組の周知、競輪をはじめとする自転車競技の魅力発信を通じて、府民の理解促進を図ることとしております。(P2に追加)また、余剰スペースの活用には、緑地等の確保、地域住民の皆さんの利用などに十分配慮することとしております。
	「ギャンブル依存症対策への業界を挙げての取組」について、具体的な説明がないが、ギャンブルには反対。自転車競技を盛んにすることには賛成。	競輪事業の社会貢献の取組の周知、競輪をはじめとする自転車競技の魅力発信を通じて、府民の理解促進を図ることとしております。(P2に追加)また、競輪開催の場としての機能だけでなく、地域と共生する競輪場として、地域の交流・賑わいの拠点へと転換するに当たっては、「交流・賑わいゾーン」への来場者の動線を明示的に確保することとしております。(P9に追加)
	競輪存続に反対。老朽化した競輪場は将来に不要と考える。公営ギャンブルの場のそばに青年の集うアリーナを整備することは、育成上問題が大きいと思う。	
	公営ギャンブル廃止を望む者として、向日町競輪場の廃止を強く望む。廃止に伴って発生する雇用問題、府民・市民が気軽に利用できる施設への転換など跡地利用について、適切な対応を望む。	
	公営ギャンブルは要らないと考えており、競輪場は廃止してほしい。向日市に競輪場が存在することで、向日市にどれほどの収益があるのか記載がないが、重要なことであると思う。	
	「来場者が大きく減少する中、京都府の施設である以上、多くの府民に利用されることが望ましく、来場者(利用者)を増やすことが必要である」と記載してあるが、ギャンブルである以上、この機会に競輪場は廃止にすべきと思う。	
	競輪場の存続には反対。競輪場はギャンブル施設であり、施設が老朽化した今に廃止すべきだと思う。	